

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立米子高等学校

重点項目	探究学習	提出日	令和5年3月29日
------	------	-----	-----------

1 学校目標	
○確かな学力の育成	・学力の向上 ・思考力、判断力、表現力の更なる向上
○豊かな人間性の育成	・基本的生活習慣の定着 ・生徒の主体的活動の推進 ・支援が必要な生徒への援助
○自己実現のための進路指導の充実	・探究学習の充実 ・キャリア教育の発展 ・進路指導の充実
○地域との連携による学校づくり	・地域のニーズに応じた地域貢献 ・積極的な社会参画と情報発信
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習にSDGsの視点を導入し、系統的なキャリア教育の構築 ・系列の特色化と資格取得を促進する ・キャリア教育をベースにした系列科目と資格取得 ・探究活動の実績を活用した様々な進路への対応 <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ①資格取得 合格者が受検者の70% ビジネス文書実務検定1級・秘書技能検定2級・簿記実務検定2級・保育技術検定1級 フラワー装飾技能検定 ②実用英語技能検定2級の受検を促進し合格者を増やす ③大学合格者数 25人(内国公立大5) ④放課後講座に継続して参加する者 30人以上 ⑤探究学習アンケート伸長ポイント <p>探究学習での生徒の自己評価アンケート項目「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「創造力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」における評価が、事前から事後で5段階の平均値が0.5ポイント以上伸長する</p>	<p><数値結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ①保育歌唱、保育器楽1級合格6名 食物検定(78%)、被服検定(100%)、保育検定(77%)が1・2級合格 ②英検合格者2級1名 ③34名(3名) ④10名 ⑤実施せず
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外部人材活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人講師活用事業→専門家による教科指導を行い、生徒の学習意欲の向上と職業観、勤労観の育成 ■ふるさとキャリア教育充実事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「ようこそ高校へ」版キャリア塾→県内有識者・大学教授等による講演会を実施 ■キャリア発達支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修事業(社会人講師)→介護職員初任者研修に係る専門的な知識と技術を習得する ・鳥取県福祉ヘルプメイト認定制度→鳥取県福祉ヘルプメイトを取得し、自己PRにつなげる ■新しい学びの創造事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 ・生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座 <p>【独自事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○系列事業 <ul style="list-style-type: none"> ・英語多読指導 ・家庭・福祉(施設等実習) ・技能検定(フラワー装飾) ・野外活動(ゴルフ・カヌー・乗馬・スキー) ○産社・探究 <ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と人間 ・探究学習の充実 ・学習成果発表会 ○指導力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価研修 ○進路指導充実 <ul style="list-style-type: none"> ・マナー講習会 ・看護の職場体験 ・放課後講座(公務員・大学進学) ○手話交流 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校交流(手話ボランティア参加) ○国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・セント・トーマス・アクワイナス高校・韓国造形芸術高校交流 →新型コロナウイルス感染症収束後の交流再開を確認 	

4 総合所見（成果・評価）

- ・探究学習の系統的な形が完成し、イロトリプロジェクトと名づけた。今後さらに内容について徹底する必要がある
- ・探究活動で取り組んだ実績を入試の面接やプレゼンテーションに用いた生徒もおり、一定の成果があがった
- ・学習成果発表会は大雪のため外部会場での開催はできなかったが、校内でICTを活用しリモートで実施した
- ・公務員・大学合格者は、外部講師を活用し、早い段階からの指導により公務員合格者5名の成果を出すとともに目標を達成した